



報道関係者各位

プレスリリース

平成 28 年 2 月 23 日  
株式会社インフォコーパス

インフォコーパス、MQTT ブローカーを SensorCorpus に標準搭載  
～機器間の協調動作を、簡単、安価、セキュアに実現～

IoT 事業を手がける株式会社インフォコーパス（代表取締役社長：鈴木潤一、本社：東京都渋谷区、以下インフォコーパス）は、IoT プラットフォーム SensorCorpus（センサーコーパス）（\*1）に MQTT ブローカーを標準搭載いたしました。SensorCorpus 上で MQTT を利用した接続が 3 月 1 日より利用できます。

MQTT は MQ Telemetry Transport の略で、メッセージプロトコルの一種です。HTTPS と比較して、軽量、省電力、高頻度、一斉同報通知、多対多通信といった特徴を持ちます。負荷を抑えて、多数のセンサー情報を配信、交換できるので、特に IoT/M2M に適しています。MQTT ブローカーは、MQTT の配信用サーバーで、デバイスからのメッセージ受信とメッセージ送信を行います。スケール拡張も容易で、多数のセンサー間を飛び交う多対多のデータを効率的にやりとりできます。

従来、SensorCorpus 利用者にはカスタマイズにより MQTT を搭載してきました。今回は、MQTT ブローカーを SensorCorpus に標準搭載することで、利用者は誰でも MQTT を使った接続を行うことができます。

SensorCorpus の MQTT ブローカーの特徴は、以下の 3 点です。

1. 安価に利用できます。SensorCorpus の標準搭載となったことで、現在の HTTPS 版と同価格で MQTT を使った接続を利用できます。

2. 簡単に接続できます。弊社から提供するライブラリーを利用して、規定の MQTT トピックを指定するだけで、センサーや複数機器間の協調動作を行うことができます。また、MQTT クライアント用のサンプルプログラムを提供します。

3. セキュリティが考慮されています。MQTT over TLS による通信路の暗号化に加えて、個々のセンサーデータはゲートウェイごとに完全に隔離（アイソレーション）されます。

これにより、利用者は機器、設備、家電、自動車等を協調動作させることができます。また、SensorCorpus のフィードバック制御、フィードフォワード制御と組み合わせることで、例えば、自動搬送車が故障したら後続車が経路を自動変更する、オフィス内で人がいる／移動しているところだけを自動照明し、人がいないところは消灯する、等といった複雑な協調制御が実現できます。

お客様はこうした複雑な協調制御システムを、大きな投資をかけてゼロから開発しなくても簡単に安価に実現することができます。

なお、MQTT ブローカーの内容については、SensorCorpus ワークショップ（\*2）において解説を行います。

SensorCorpus は IoT プラットフォームからリアル／デジタル世界を統合したサイバーフィジカルシステム（CPS）プラットフォームとして、社会システムの省人化、省エネ化、安全社会の実現に貢献してまいります。

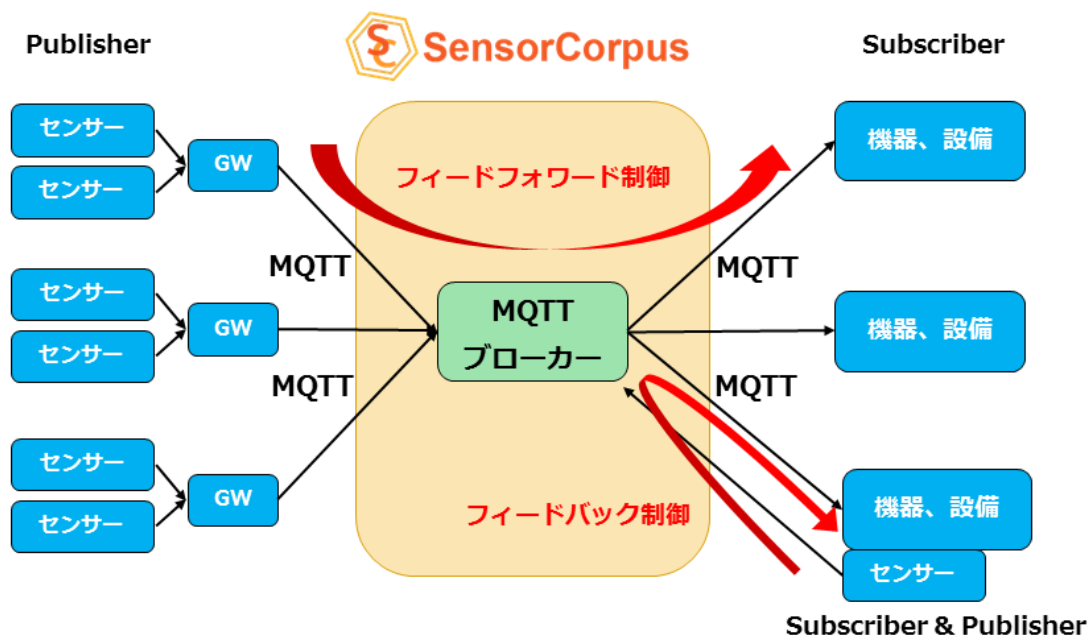
（\*1） SensorCorpus：インフォコーパスが開発した簡単、安価、セキュアなクラウドベースのサービスプラットフォーム。パブリッククラウドの他、顧客のさまざまなクラウド環境、ネットワーク環境で動作することが可能。

（\*2） SensorCorpus ワークショップ：毎月行われる IoT 技術に関するワークショップ。詳細は下記 URL を参照。 <https://www.sensorcorpus.com/workshop/>

#### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社インフォコーパス

担当：田名瀬



### MQTTブローカーを使った協調制御システム